

エ

エージェントレスで簡単接続&統合バックアップできる 業界初のバックアップ・アプライアンス「Data SAFE I」

- コアマイクロシステムズは、業界初のエージェントレスで複数の小型NAS（Tera Station / LAN DISK等）やLinux/Windowsベースのファイルサーバを統合バックアップするアプライアンス製品「Data SAFE」と、IBM製x86サーバ「IBM System x」で構成したバックアップ・アプライアンス「Data SAFE I」を発表した。

複数の小型NASやファイルサーバ を簡単接続&統合バックアップ

コアマイクロシステムズが提供している「Data SAFE」は、複数の小型NASからLinux/Windowsなどのファイルサーバを簡単にバックアップするアプライアンス製品である。図1は、Data SAFEの構成イメージ。CIFSプロトコルベースの接続方式で、Data SAFEからマウントできる環境であれば簡単に接続が可能。また、エージェントレス方式を採用しているため、保護対象サーバへのエージェント等のインストールは一切不要。ソフトウェア同士の競合など、これまでの環境に対する配慮が必要なLinux/Windowsファイルサーバ環境や、現在保護されていないTera Station、LAN DISK等の小型NASを、低コストかつ統合的にデータ保護ができるようになる。さらに、遠隔バックアップ機能を標準で搭載しているため、例えば、遠隔地にData SAFEを設置することで、簡単に事業継続計画（BCP）や災害対策（DR）向けのシステムを低コストで構築できるようになる。

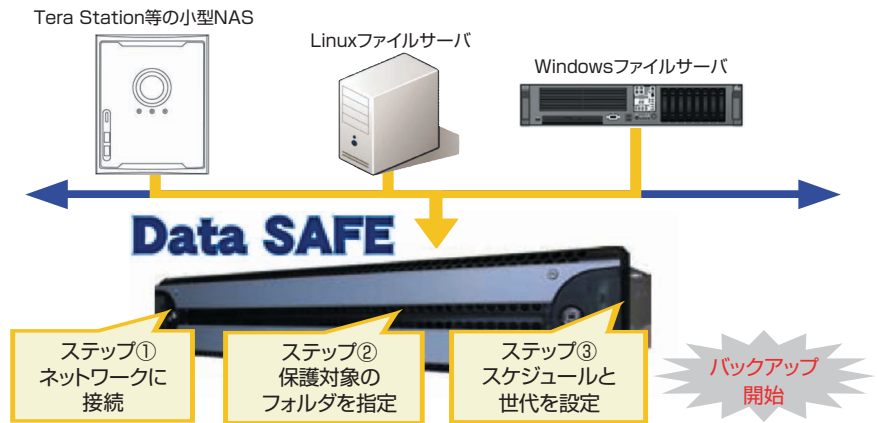


図1 構成イメージ

IBM System x版バックアップ・アプライアンス製品を発表

2009年12月、コアマイクロシステムズは、Data SAFEと、IBM製x86サーバ「IBM System x」で構成したアプライアンス製品「Data SAFE I」を発表し、販売を開始した。本製品により、既に導入されているTivoliやDirector等のIBM製ツールで管理された環境に、シームレスに導入が可能に。また、導入後に懸念される管理の複雑化や人員コスト等の課題の解消も可能となる。標準価格は実行容量4TB～で本体標準小売価格94万円～（税抜）。低

価格での提供を実現した。

さらに、Data SAFE Iと同時に、最短10分間のリカバリとベストエフォート回線での遠隔リプリケーションを実現できるCDP（Continuous Data Protection：継続的データ保護）アプライアンス「Server SAFE」と、IBM System xで構成したCDPアプライアンス「Server SAFE I」も発表した。

● お問い合わせ先 ●

コアマイクロシステムズ(株)
TEL：050-5558-5410
E-mail：sales@cmsinc.co.jp
URL：http://www.cmsinc.co.jp/